



かやぶき屋根に

プロジェクトマッピングが……



平中学校の2年生の提案を新聞で読んだ方が、実際にプロジェクトマッピングを試してくださいました。

生徒に聞いてみますと、

「提案したことが、こんなに早く試してもらってすごい」

「自分たちのやってみたいというアイデアがこんなふうに行われてうれしい」

「発信することで地域のために何かできることが分かった」

「観光客や移住者が増えて、地域の活性化につながってほしい」と答えてくれました。

生徒は、自分たちが考えたことに地域の大人の方が関心もち、何とか実現する方法はないかと探ってくださいすることに、驚きとうれしさを感じています。中学生のアイデアを受け止めてくださる地域の方の温かさに感謝いたします。

今後も、地域について学び、地域のよさを活かすために自分たちができることを考えたり、発信したりすることを大切にしていきたいと思います。



かやぶき屋根に映像投影 菅沼



菅沼合掌造り集落のかやぶき屋根に投影されたプロジェクトマッピング＝南砺市菅沼（上平）

南砺市菅沼（上平）の世界文化遺産・菅沼合掌造り集落で22日夜、プロジェクトマッピングの実験が行われた。雪で覆われた合掌家屋1棟の屋根をスクリーンに見立て、集落の映像が投影された。

同市大島（平）のカメラマン、山崎英信さん（64）が試みた。数年前に菅沼集落の荒井家の屋根のふき替え

を約2カ月にわたりタイムラプスと呼ばれる方法で撮影。静止画を連続して動画のようにしたもので、この日は荒井家の屋根に約3分間映し出した。雨を避けるために屋根にシートが掛けられる様子や、カヤが外され骨組みが見える姿が雪景色の集落に浮かび上がった。山崎さんは先日、地元の平中学校の生徒が地域活性化策として田中幹夫市長に合掌集落でのプロジェクトマッピングを提案したことを新聞で知り、思い付いた。映像を見た菅沼集落の中島慎一区長（63）は「面白いのでライトアップなどのイベントでも使ってみたい」と話していた。